

石巻専修大学

http://www.isenshu-u.ac.jp

代表電話番号
**0225
(22)7711**
広報専用FAX
**0225
(22)7809**

「いしのまきワンセグ」 キャンパスライブ開始

ラジオ石巻とコラボで 毎週金曜日、生放送中

本学の学生スタッフにスタッフ6人の紹介を中心、「いしのまきワンセグ」に、学生会館2階の「いしのまきワンセグ」放送スタジオから生放送。放送から1時まで「いしのまきワンセグ」とラジオ石巻のコラボ企画として放送していく予定だ。



第一回放送を終えて、ワンセグリーダーの及川隆大さん(経営4・福島県清陵情報高)は「今回の放送のために2週間ほど前から準備をしていましたが、実際に始まってみると30分の放送時間はとても短いものでした。これからの放送では大学内や現在の石巻の様子を、石巻市内だけでなく生田キャンパスにも伝えていきたいと思っています」と話している。

▲ 第一回放送の様子

化学系学協会東北大会 小野寺さんが優秀ポスター賞に

化学系学協会東北大会が9月15、16の両日、秋田大学手形キャンパスで開かれ、本学の小野寺香さん(理工4・宮城県気仙沼西高)が優秀ポスター賞を受賞した。

講演題目は「バイオエ

小野寺さんは「今年か

達也教授に感謝したい

と話した。

らはじめた

研究テーマで

では多くの方

々からさまざまな意見を



東北総合通信局にエリ
アワンセグ
の免許申請
を行い、7
月に本免許
を取得。8
月から東北
初の教育機
関の地上一
般放送局を
本学に開設
した。今
後、地域活
性化のため
の市民向け
放送も視野
に入れ、継続
した運営を行っていく。

経営学部ミ 「復興商店街」研究 発表会を一般公開

経営学部の李東勲ゼミの3年次生が10月26日、石巻市の「あいプラザ」で、仮設の「石巻立町復興ふれあい商店街」について分析したアンケート結果を発表した。結果からは、商店街に対する市民の認知度は高いものの、購買意欲が多くないなどの問題点が明らかになり、会場に集まった商店街関係者らに改善点を提案した。

「この結果は石巻中心部の他の商店街にも当てはまる内容でも参考になった」という意見が出た。ゼミ代表の佐藤遥介さん(経営3・宮城県岩手高)は「地域のために学生の力で何かできることをしたいと思いました。商店街の皆さんに協力し、再生を手伝いたい」と話した。

「施設利用・農水産物放射能セミナー」開催
被災地の農水産業、水産加工業を支援するため、産加工業を会場として本学を会場として「施設利用・農水産物放射能セミナー」が10月11日と18日に開かれ、市民や学生らが参加した。福島第一原発の事故から11日は「放射能ってなんだろ」と題して、福島美智子理学部教授が講演。18日は「環境放射能のうつりかわり」の演題で大槻東北大学准教授が講師を務めた。両日で延べ50人が参加し、講師の活発な質疑応答も行われた。



硬式野球部
明治神宮大会東北地区
代表決定戦で惜敗
大学野球の全国大会「明治神宮大会」の出場権を懸けた東北地区代表決定戦が10月26日から28日まで、郡山市の開成山野球場で行われた。石巻専修大学は1回戦で東北学院大に完封負けし、翌日の敗者復活1回戦でも東日本国際大に惜敗。明治神宮大会への出場はかなわなかった。

公開シンポジウム・文化講演会
「復興とボランティア活動」開く
公開シンポジウム・文化講演会「復興とボランティア活動」が11月11日、本学キャンパスで開催された。学生、市民らの来場者は熱心に聴講したし写真。
午前中は亀山紘石巻市長による基調講演と、公開シンポジウムを実施。開シンポジウムを実施。午後からは清塚信也さんのピアノと小林正枝さんのバイオリンによる復興演奏会、「住まいと暮らし」「子育てと教育」「スポーツ・医療・健康」をテーマとした分科会に続き、宮城県の教育文化行政のトップとして指導にあたってきた小林伸一氏(前宮城県教育長、前東北歴史博物館長)による特別文化講演会が行われた。
2013年に創立25周年を迎える本学では、今後も復興の支えとなるようさまざまな教育・文化イベントを開催していく。



参加者と意見を交わす李ゼミ生
「地域のために学生の力で何かできることをしたいと思いました。商店街の皆さんに協力し、再生を手伝いたい」と話した。



被災地の農水産業、水産加工業を支援するため、産加工業を会場として本学を会場として「施設利用・農水産物放射能セミナー」が10月11日と18日に開かれ、市民や学生らが参加した。福島第一原発の事故から11日は「放射能ってなんだろ」と題して、福島美智子理学部教授が講演。18日は「環境放射能のうつりかわり」の演題で大槻東北大学准教授が講師を務めた。両日で延べ50人が参加し、講師の活発な質疑応答も行われた。

「施設利用・農水産物放射能セミナー」開催
被災地の農水産業、水産加工業を支援するため、産加工業を会場として本学を会場として「施設利用・農水産物放射能セミナー」が10月11日と18日に開かれ、市民や学生らが参加した。福島第一原発の事故から11日は「放射能ってなんだろ」と題して、福島美智子理学部教授が講演。18日は「環境放射能のうつりかわり」の演題で大槻東北大学准教授が講師を務めた。両日で延べ50人が参加し、講師の活発な質疑応答も行われた。

角田研究室 宮城県水産 高校連携プロジェクト 本学で実験教室 生徒25人が参加



本学学生も協力し実験を行った

「イオ教育プロジェクト」の一環として行われた。生徒たちは両社の実験スタッフによる指導の下、試料から生命情報を持つDNAを抽出したり、その指令によって作られる酵素の働きを学ぶ実験、微生物の培養に取り組んだりした。実験には角田教授や研究室の学生たちも加わり、東北太平洋側初となる魚醬づくりを目指し、生徒たちと交流を深めた。